

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年1月13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105016
法人名	医療法人 浜友会
事業所名	グループホーム はまゆう
所在地	鹿児島県鹿児島市喜入町6976番地1 (電話) 099-345-0099
自己評価作成日	平成26年11月29日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年12月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

H26年9月より、新院長が加わり、医療体制が強化され、昼夜問わず入居者様御家族・職員も安心し生活している。また、同敷地内にある母体医療機関・併設の特別養護老人ホームとの交流会や勉強会・色々なイベントも積極的に行われており、職員のレベル向上や入居者様の楽しみも増えている。

理事長は手品を得意とし、誕生会・イベント等で披露し、入居者様・御家族参加者の方を、楽しませている。

近隣には、消防署・駐在所・喜入支所・小中学校・駅・商店街などがあり、利便性に富んでいる。小学校からは児童の元気な声・音楽も聞こえてくる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・町内会に入り、町内会総会などに出席している。地域で行なわれるイベントの文化祭等に見物に出かけている。六月灯に職員が出店をしたり、地域のボランティアの訪問も多く地域と親しく交流している。
- ・運営推進会議は、事業所の活動報告や外部評価の報告を行い参加者からの意見や提案を運営に活かしている。
- ・支所が近くにあり、情報収集や認定更新など直接出向きアドバイスを受けたり、市主催の研修会へ参加したり、協力関係を築いている。
- ・隣接医療機関との24時間医療連携体制が整っており、安心感がある。重度化と共に家族の付添いなど協力をもらいながら主治医とともに穏やかに過ごせるようにケアの共有をしている。
- ・身体拘束廃止について、定期的に勉強会を行い、事例検討を実施し、身体拘束のないケアの実践に取り組んでいる。
- ・災害の避難訓練は、昼夜間を想定して年2回実施している。訓練後は参加者全員で反省会を行い消防署の指導を受けている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	パンフレット・はまゆう便り・家族会・運営推進会議・職員会議等で資料に載せ理念を唱和している。10時のお茶や申送りの際、皆で唱和している。	理念は職員で話し合っって作ったもので、事業所内に掲示し、毎月のはまゆう便り「ほほえみ号」やパンフレット類に掲載している。職員で毎朝唱和し、会議等で理念について話し合い、ケアに繋がるように実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の清掃や文化祭・六月灯に参加し、顔なじみの方と話をする機会を作っている。ボランティアの方との交流が増えている。	町内会に加入し、町内会総会などに参加している。地域で行なわれる文化祭を見物したり清掃活動に参加したり、六月灯では職員で出店している。散歩や買い物の際には挨拶や会話をしたり、下校時の子供たちと会話を楽しんでいる。地域のボランティアもあり、地域との繋がりを大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の行事に参加し、悩みや相談に対し耳を傾け、アドバイスしている。職場体験やボランティアの方に話をし、交流して頂いている。地域包括支援ネットワークの役員として参加活動している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>隣接のグループホームと合同で2か月に1回行っている。お互いのケースを聴き、検討出来るので質の向上につながっている。また地域の方の情報や協力も多く、助けられている。</p>	<p>会議は定期的開催されている。事業所の活動報告や状況・外部評価の報告を行い、介護保険制度や看取りについての思いを話し合い、出会者から理解と協力が得られると共に、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域包括支援センター主催の会議に参加したり、運営推進会議などで協力関係を作っている。わからないことなど、気軽に相談連絡できるようになってきた。</p>	<p>支所が近くにあり、認定更新時や情報収集で直接出向いて担当者や話し、アドバイスをもらっている。電話でも相談している。市主催の研修会にも積極的に参加している。地域包括支援センター主催の地域ケア会議へも参加している。運営推進会議に参加してもらい協力関係ができています。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>申し送り時、徘徊や排泄・気分等で注意が必要な方を報告し、スタッフ間の声かけ・見守りを行っている。職員会議やカンファレンス時に、身体拘束についての勉強会を行っている。</p>	<p>職員会議やミーティングで定期的に勉強会を行い、事例検討を実施し、身体拘束のないケアの実践に取り組んでいる。昼間は玄関の施錠をせずに職員間の見守りで安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修会参加・勉強会・職員交流を行い、職員の介護への悩みなど聞き、検討する機会を作っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度について学ぶ機会を持ち、それを活用できるよう支援している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前にホームを案内し、説明・同意書を頂いている。定期的に主治医・家族・管理者・担当者を交え、意向や問題点等を話し合っている。その後職員会議で報告し統一ケアに努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会や電話連絡時、入居者様の様子を伝えながら、困ったことは無いかと伺っている。すぐ解決出来ることはその日のうちに、その他は管理者へ報告し申し送り時や職員会議で検討し解決している。</p>	<p>利用者からは日々の生活の中で意見や要望を聞いている。家族からは、毎月の便り「ほほえみ号」でホーム内や外出しての状況報告を写真などで知らせたり、家族との交流が行われたり、面会時・運営推進会議時・電話での報告で意見を聞いている。出された意見や要望等は職員で話し合い運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議・カンファレンス・時には食事会を設け、意見交換を行っている。理事長へも報告し意見を頂いている。</p>	<p>管理者は職員会議等で職員の気づきや意見・提案を聞く機会を設け反映を図るように心がけている。職員とのコミュニケーションを図り、職員の声をよく聞き、話ししやすいように環境整備や気使いをしている。年2回の合同食事会などで意見交換などが行なわれている。職員のレベルアップに向けた資格取得の支援も行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>一人一人が生き生きと働けるよう勤務時間の調整や研修参加・職員交流の場を設け、気配りに心がけている。必要に応じ、理事長に相談している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外への研修に参加し、それを他職員に伝える機会を作っている。資格取得へ積極的である。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>鹿児島・谷山地区などの勉強会に参加し情報収集・情報交換したり、他事業所に見学に行き学ぶ機会を作っている。事業所内での勉強会・意見交換なども行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、本人・家族と面談し、生活習慣や環境を把握し、不安に思っていること・要望に耳を傾けることで、安心して入居できるよう心がけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	今までの介護経過を傾聴し、その労をねぎらい、不安・要望を伺い安心して頂ける声かけを行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	主治医・本人・家族・前サービス担当者等を交え、問題となる事柄はないか検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、入居者様を家族の一員として介護を支え、入居者様のできることを手伝って頂き、共に助け合っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時、入居者様と家族の方がお茶を囲み楽しく過ごせるように支援している。日常生活での出来事や行事、健康面についても説明している。遠方の方には便り・電話報告を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	散歩や墓参り、地域の行事に参加することで、知人や顔なじみの方に声かけして頂いている。	近隣の散歩をして、近所の住民や商店街の人達と馴染みになり、会話を楽しんでいる。馴染みの友人知人の訪問があり、関係を継続できるように働きかけている。ドライブでは馴染みの場所に行ったり、家族の協力で外出、墓参なども支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い人は席を近くにしたり、コミュニケーションの取れない方には職員が介入し、お互いの関わりが成立するように支援している。職員の介入・支援が不可欠である。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に移られた方には、時々面会に行ったり、家族への声かけを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のかかわりの中から、入居者様の言動や表情から思いを把握できるよう努めている。職員間で情報交換や、入居時や面会時、家族からも情報を伺っている。	家族や関係者からの情報を得ながら、日々の関わりの中で様子を観察し言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。意思疎通が困難な場合は家族の面会時や知人・関係者などから話しを聞いたり情報収集し本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族・知人・前サービス担当者から情報を頂き、把握に努めている。ホームでもできるだけ同じように生活して頂けるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎月のカンファレンスで、現在の状態を話し合い、自立支援にむけて援助している。また、安心安全に生活できるよう検討している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族に、日常生活や行事・健康状態等を説明し、本人・家族の意向を伺い、カンファレンスで意見交換を行い計画を立てている。主治医を交えての担当者会議も行っている。	本人や家族の意向を確認し、主治医も担当者会議に参加して介護計画を作成している。毎月職員全体でカンファレンスを行い、個々に応じたリハビリも取り入れ、6ヶ月毎に見直し状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	経過記録やチェック表を記録することで、日々の様子や体調が把握できる。カンファレンスで職員間の情報共有、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 平八で家族の状況、その時々によまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況にあわせ、日頃から要望など伺い、家族対応が困難であれば、職員での対応を出来るだけ行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし力を又えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の文化祭や六月灯に参加したり、ボランティアの方と歌ったり、お茶を楽しんでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人家族の希望するかかりつけ医への受診を支援している。専門医受診必要時は、主治医・家族を含め検討し、家族・職員同行を行い、情報交換・連携を取るようにしている。	従来のかかりつけ医の受診を支援し、通院は家族の協力を得ながら支援している。歯科の往診がある。緊急時の対応などには、母体医療機関が隣接しているので24時間医療連携体制が整っており、夜間など緊急時の対応も可能である。看護師も常時勤務しているので利用者や家族も安心している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師が3人勤務しており、毎日1人は看護師がいる状況を作り、状態観察・緊急時の対応ができるようにしている。又、介護職員も気になることは、早めに報告するようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先に面会に行き、本人・家族・主治医・看護師等からの情報収集・相談事に対応している。病院関係者との交流も定期的に行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前に説明を行い、同意書を頂いている。専門的治療や急変時は、担当者会議を開き、再度方針について説明・確認を行い支援している。</p>	<p>入居時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。看取りについては、状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医と連携して支援している。職員全員がその方針を共有している。看取りの事例がある。重度化に伴い家族の泊まりでの付添いなどの協力をもらいながら主治医と話し合い穏やかに過ごせるようにケアの共有をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>毎月の安全対策委員会に参加し、AED・急変時や危険予知についての学習を行っている。また職員会議でも対応方法等再確認している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>病院や隣接の施設と合同の訓練を行ったり、夜間想定 of 防火訓練を行っている。地域のケア会議にも参加し地域との交流や勉強会を行っている。</p>	<p>年2回消防署の指導のもと、近隣住民や家族の協力を得て昼夜間想定 of 避難訓練を実施している。訓練後は参加者全員で反省会が行なわれ消防署の指導も受けている。災害時のために食料や水も備蓄されている。隣接の母体医療機関との共同訓練も実施している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され、消火器の使用訓練やAEDの訓練も実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>言葉使いや介助方法など、その方が嫌な思いをしないよう援助している。職員会議等で、プライバシー保護・個人を尊重したケアを実践できるよう話し合いを行っている。</p>	<p>日頃から人格の尊重について、全職員で定期的な勉強会や研修に参加して、職員の資質向上に取り組んでいる。言葉かけについては排泄の失敗時は周りに気づかれないようにさりげなく対応する等、プライバシーに配慮した支援に努めている。個人情報保護にも細心の注意をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人の行動や表情を把握し、本人のペースに合わせ対応している。職員が援助しながら、できるだけ本人に決めて頂くようにしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人一人の体調に配慮しながら、食事や行事等調整している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>本人が服を選べるよう工夫したり、鏡をみてブラシが通せるよう声かけ支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>盛り付け・かたづけ等できる方には感謝の気持ちを伝えながら、お願いし、旬のもの・彩・座席・器等を配慮している。最近では食事介助者が増え、一緒に食べる機会が少なくなった。</p>	<p>旬の食材を使い献立の工夫や食事形態を工夫している。個々の力量に応じて盛り付けや片づけを職員と一緒にしたりしている。食事介助は個別に対応をして安心して食事ができるようにしている。誕生会や行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人一人主食・副食に分け記録している。必要な方には、水分量・時間・種類を細かく記録し、主治医報告も行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、うがい・歯磨きを行って頂き、できていない部分を援助している。定期的に歯科衛生士による口腔ケアを行っている方もいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄パターンを把握し、定期的に声掛けしトイレ誘導を行いおむつ外しを支援している。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、職員の声かけや誘導によるトイレでの排泄を大切にしている。オムツを減らす取り組みや排泄の自立も支援している。トイレも広く車椅子でも十分なスペースと座位や立位の安定保持がスムーズに行なえるように手摺が適所に設置されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	チェック表にて、食事量・水分量・運動量・排便間隔を確認し、個々に応じて対応している。排便困難時は主治医相談している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	希望を聞きながら入浴を行っている。入浴拒否の方もおり、職員を変えたり、笑いを入れながら誘導している。	入浴は基本的に週3回であるが、気持ち良く希望に添った入浴ができるように支援している。入浴をいやがる利用者には職員間で連携し状況改善に努め、入浴を楽しめるように工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の睡眠状態・日中の活動状況や気分を観察しながら声かけし、休息を促している。体位や枕・衣類調整・照明・など配慮を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用・用量等について、カンファレンスで説明したり、臨時薬はその都度申し送りで伝えている。誤飲ないようにダブルチェックを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>花を一緒に買いに行き、植えたり、調理や作品づくりなど、出来ることを褒めながら、職員と一緒にいる。個々にあった気分転換を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>入居者様が重症化しており、毎日の外出はできない。日時を決め外出したり、家族の協力を頂き墓参り等、行っている。</p>	<p>日常的には、天候や体調などに考慮して散歩に出かけている。外気浴をできるだけできるようにしている。近隣に商店があるので買い物も職員と一緒に出かけている。年間計画を立てて花見や地域の行事に参加している。家族の協力ですぐ外出や墓参りにも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持つことで安心する入居者様には、家族に説明・確認し持っていていただいている。支払時は職員が確認し家族報告を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話が聞き取れない方には大きな声で伝えたり、手紙の代筆や代読など行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	緑の植物を置いたり、季節の花や作品を飾り、こまめに掃除を行い、居心地良く過ごして頂けるよう、援助している。	共用空間は、天井が高く天窓があり換気や採光に配慮し、温度や湿度が調整されている。畳のスペースやゆったりしたソファがあり、ゆとりと開放感がある。季節の花や緑の植物が置いてあり、レクリエーションでの作品や外出や行事などのスナップ写真が壁に貼られ、居心地よく暮らせるように工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファに座り、テレビを見たり・会話・お茶のみ・洗濯物たたみをしたり、居室で読書したり、一人一人思い思いに過ごせるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に使用していた品物を持ちこんで頂き、安心して頂けるようにしている。	利用者の状態や希望に応じて、ベッドや敷布団の部屋などを決めている。仏壇や家具・時計・写真など使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して生活できる空間になっており、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの体調や残存機能を把握し、その方と関わる時間を作り、傾聴しながら対応している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない